

# 合意書 を かわそう!

アメリカや中国での住宅需要の増加やコロナ不足によって国内での木材調達が困難になり、価格が高騰する「ウッドショック」が発生しています。ユニオンの工務店からも「材料が入らなくなっているから工事が延期になって収入が減るようになった」「材木屋でもストックが無くなってきた」「多摩産材も高くなっている」といった情報が

寄せられています。全連総連では住宅問題に取り組み弁護士が作成した合意書をホームページに掲載し、活用を呼びかけています。この合意書は建築主との間で部材や樹種の変更、工期の変更、請負代金の変更について合意を得るためのものです。新規契約向けに契約済み向けの2種類があります。「ウッドショックの影響による対



合意書を送りました上で、合意書を送りましょう。心づいて」というページからダウンロードできます。建築主とのトラブルを避けるために状況を説明した上で合意書を送りましょう。

# シリーズ「4」 あなたにとって 組合って なんですか?

前回住居デリーに職人憲法があり、地域の中で大切な役割があるのではないかと問いかけました。今回は、ハガキが主要請負を考えた。予算要求ハガキを記入しました。毎年、厚労省・東京都・財務省とご協力ありがとうございます。紹介文には「建設関係は私たちの実態に最も適した制度です。」とあります。建設の補助金は保険料に大きく影響します。②みはさんの出したハガキの力は大きく生かされています。建設6万枚にもなります。

都との交渉は国保課長が積り上げられたハガキを数枚読み上げ、厳しい生活の中で保険料を支払い健全運営している思いが一枚一枚から伝わるからこそ財務局に強く要求し、成果をあげることで「できる」と受け取ります。

国による補助金は273.2億円、都では47億円を確保し、保険財政は保険料から5割、補助金から5割で運営が成り立っています。建設関係が設立され



職人の愛を込めて書きます!!

# 「命の綱」の原点...

て51年目にはなります。収入ではなく働きたりによる保険料区分、傷病手当金の給付など私たちの実態に最も適した制度といわれています。この当たり前の思わ

## 森しんいち議会報告

5月28日(金)より令和3年度定例議会が始まりました。私に代表質問の大半の時間を使い新型コロナワクチン接種について質問しました。大きな混乱もたくさんの方が接種を受けています。今後、全年齢が対象となることに備えて、万全を期すよう提言しました。

7月4日は東京都議会議員選挙投票日です。建設ユニオンでは西東京市選挙区は現職の立憲民主党「石毛しげる」さんを推薦決定しました。ご協力お願いいたします。

# ボウリング大会

# 健康診断

本部長 青井部 合同企画のボウリング大会を今年も開催する予定です。知片をはじめとした豪華景品もあつきます。多摩北は現在3連覇中! 4連覇をめざして参加してみませんか? ご家族連れでの参加も大歓迎です。ご希望の方は支部事務所までお申し込みください。

▼日時: 7月11日(日) 14時30分~17時  
▼場所: 久米川ボウリング場 (駐車場有り)

今年度最後の集団健康診断の日程のご案内です。定員になり次第受付を終了しますので受付期間内にお早めにお申し込みください。

▼日時: 9月5日(日)  
▼場所: 東久留米 ゆく健康センター (7月20日より受付)

集団健康診断に都合のつかない方は提携医療機関で同内容の受診ができます。詳しくは「健康診断のお知らせ」をご覧ください。多摩北のホームページでも閲覧できます。